



## 学校だより『やまびこ』

No.6 (令和 1.5.30)

校長 小川 太志

### ～ 先生たちも勉強に励んでいます！ ～

諸塚小学校では「誰もがわかる・できる授業」をめざし、授業の工夫改善に全職員で取り組んでいます。その一環として、それぞれの先生が年度4回の「チャレンジ授業」に挑みます。

「チャレンジ授業」とは、職員間で授業を参観し合い、優れた指導技術を学び合ったり、課題の改善策を話し合ったりする取組です。同様の取組は他校でも行われていますが、本校では独自に「支援チーム」を編制し、校長、教頭、教育委員会指導主事の3名が各先生の支援者となり、マンツーマンで授業づくりにかかわっていきます。



トップバッターとして黒木先生の第1回チャレンジ授業を今週水曜日に行いました。3年生の算数「円と球」の学習でした。周到な準備に裏づけされた、子どもたちがいきいきと学ぶとてもよい授業でした。

放課後に行った授業研究会では、先生たちから「教材や資料の工夫が参考になった」「子ども同士の学び合いの場が十分に確保されていた」といった成果とともに、「目的や見通しをもたせた上で活動に移った方が効果的」「考えに理由を添えて発表する練習も必要」といった改善点も出されるなど活発な学び合いが展開されました。褒め合うだけでなく、改善すべき点は隠せず指摘し合いながら切磋琢磨する。そんなチーム諸塚小をめざしています。



あわせて、3年生の いっしょうけんめい学習に取り組む姿勢や 相手を見て話を聞く習慣が身に付いていることへの称賛の声が上がりました。すばらしい!!!

また、日頃から教材づくりや資料の編集などにかかわってくれている支援員の先生方への感謝の声も多数寄せられました。感謝しています!!!

### ～ 読み聞かせ隊の方々とともに「諸塚茶もみ唄」を踊りました！ ～

今週木曜の朝、読み聞かせ隊の方々6名が来校されました。でも今回は、絵本の読み聞かせではありません。例年、運動会で踊っている「諸塚茶もみ唄」の由来や歌詞の意味などについて、ユーモアを交えながらお話いただきました。

振り付けはわかっているものの、その意味や所作までは知らなかった子どもが多かったようで、お話を聞いた後は

一段と踊りに身が入った様子でした。いつも子どもたちの心に響く趣向を凝らした活動をありがとうございます。

